



創業塾 開講

夢に向かうあなたを応援!

講師を務めたのは平野禎幸氏（か）が経営コンサルティング代表／中小企業診断士。17人の受講者は平野氏の講義やグループワークを通じて、創業して成功するために必要な経営、財務、人材育成、販路開拓の知識などについて学びました。

12月10日（土）に行われた最終回の講座では、1人ずつ自分の夢をプレゼンテーション形式で発表。夢の実現に向けての第一歩を踏み出しました。

11月19日（土）から全4回にわたり、金沢工業大学にて市内での創業を志す人々を対象に、創業塾を開催しました。



市ふるさと交流会 in 東京



首都圏在住の市出身者や市にゆかりのある人たちとの交流を深め、市の応援団を増やそうと11月26日（土）、都内のホテルで交流会を開催し、約70人が集まりました。

会では栗市長が「総合計画に定めている将来都市像『人の和で 椿十徳 生きるまち』の実現に向け、『ふるさと応援団』の皆さまとともにわがまち野々市を育てていきたい」とあいさつしました。

会場では郷土料理のかぶら寿し、ヤーコン焼酎、キウイワインやichi 椿、市商工会女性部による草木染めスカーフなども並び、参加者たちを楽しませていました。

中野孝一氏に人生を学ぶ

12月9日（金）菅原小学校にて、市在住の^{まきえ}蒔絵の重要無形文化財保持者（人間国宝）である中野孝一氏が先生となり、これまでの生き方について講演しました。授業を受けたのは、6年生の児童計61人。話を聞きながら用紙が足りなくなるほどメモを取り、中野氏の言葉に真剣に聞き入っていました。

漆塗りを48年間続ける中野氏。「自分は不器用で才能が無いと思っていた。だからこそ人一倍努力できた。考え方ひとつで短所はプラスになるので、諦めず辛抱強く続けることが大事」と人生を振り返り、児童たちにエールを送りました。

授業の様子 →



← 休み時間には児童たちが中野氏の周りに集まり、質問が飛び交っていました。